

NETIS登録番号	技術名称			eQカズラ(地被植物)
QS-130036-A	副題	除草剤で管理でき、草刈り不要で、きれいな単一植生を造る省力型の地被植物		
分類1	付属施設	道路植栽工	植樹工	キーワード: 景観, 管理の省力化
分類2	公園	公園植栽工	地被類植付工	
開発目標		省人化, ライフサイクルコストの向上		
技術の位置付け	<input type="checkbox"/> 推奨技術 <input type="checkbox"/> 準推奨技術 <input type="checkbox"/> 活用促進技術 <input type="checkbox"/> 設計比較対象技術 <input type="checkbox"/> 少実績優良技術			
特許	<input checked="" type="checkbox"/> 有り (特許番号: 特許 第4642049号 緑化管理方法) <input type="checkbox"/> なし			
技術賞, 審査証明等	<input type="checkbox"/> ものづくり日本大賞 <input type="checkbox"/> 国土技術開発賞 <input type="checkbox"/> 学会賞 <input type="checkbox"/> 建設技術審査証明			
問合せ先	会社名	西日本高速道路エンジニアリング九州株式会社		TEL 092-771-1414
	住所	福岡市中央区舞鶴1-2-22 天神ジャパンビル		E-MAIL tizumi.a@w-e-kyushu.co.jp
	担当者	営業本部 営業部 和泉		
実績件数	国土交通省		その他の公共機関	民間等
	H26.3.31現在 件		件	22件

技術概要:(300字以内)

道路植栽などに使用する地被類で、除草剤で管理でき、しかも横に這い広がる性質が強い事から草刈りなどの人力作業に頼ることなくきれいな単一植生を造る事が可能。

【新規性及び期待される効果】

《新規性》

- 除草剤で管理できる地被植物で、横に這い広がる性質の強い厳選された『eQカズラ』(テイカカズラ這性種)を用いる。

《期待される効果》

- 除草剤だけで管理することが可能となり、草刈作業が削減され、維持管理の省力化と管理費の削減が可能となる。
- 横に広がり、ガードレールの支柱などにも絡みつきにくいので、良好な景観の維持が可能。

《その他》

- 「eQカズラ」は日本固有の在来種である「テイカカズラ」の選抜種であり、日本古来の生態系を乱しません。

【施工単価】

『eQカズラ』施工費用

積算条件

- ①道路のり面で2m×50m=100㎡を想定
- ②平成25年12月建設物価(福岡)、平成25年度公共工事設計労務単価(福岡)を採用

サイクルコスト比較表(100㎡あたり)

(円)

項目	eQカズラ	ヘデラ	備考
初期コスト	205,200	172,900	
1年目	206,050	196,900	
3年目	207,750	244,900	
5年目	208,430	268,900	
10年目	210,130	328,900	

下表のサイクルコストの条件

(新技術)

- ・3年目まで除草剤を部分散布(全面積の50%) 1回/年
- ・4年目以降は除草剤を部分散布(全面積の20%) 1回/年

※自社歩掛

(従来技術)

- ・3年目まで除草(全面積) 2回/年
- ・4年目以降は除草(全面積) 1回/年



eQカズラ(テイカカズラ這性種)
ガードレール支柱に絡みつきにくい



テイカカズラ(一般種)
ガードレール支柱に絡みつきやすい

ガードレールへの絡みつき比較



H23.6 除草剤散布



H23.7 除草剤散布後 1ヶ月経過



高鍋IC
植栽当初(平成22年11月)

高鍋IC
現況 植栽2年経過(平成24年7月)

eQカズラ除草剤散布前後の状況



①施工面の除草、平滑化



②土壌改良材による土壌改良(必要に応じて)



③マルチングシート敷設(必要に応じて)



④eQカズラ植栽(5本/㎡)

eQカズラ施工手順